



環境対策

よりよい環境を 後世へ引き継ぐ



全国に先駆けて取り組んだごみの分別収集「沼津方式」

きり沼津。次の100年へ



自然観察会
地元の自然への愛着や生物多様性への関心を育み、かけがえのない自然環境を次世代に残すことを目的として、動植物に直接触れながらその特徴を学ぶ「自然観察会」を開催しています。



クリーンセンター（清掃プラント）
「沼津方式」と呼ばれる分別収集（燃やすごみ、プラスチック製容器包装、資源、埋め立てごみ）されたごみのうち、燃やすごみを焼却処理しています。



「ゼロカーボンシティNUMAZU2050」の表明
沼津の豊かな自然環境を守っていくため、市民、事業者、行政が一体となって、2050年までの二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティNUMAZU2050」を令和4年2月議会で表明しました。

環境と共生する持続可能なまちづくりのために
人々の活動が質、量ともに拡大した結果、環境への負荷が増大し、地球規模での環境問題が深刻化しています。このような中、変わりゆく地球環境への適応と負荷の軽減を図るため、市民や事業者と一体となって、交通の低炭素化、省エネルギーの推進と再生可能エネルギーの普及や、ごみの減量・資源化を推進しています。
本市の豊かな自然・環境の恵みを次世代に継承し、環境と共生する持続可能なまちを目指していくため、市民、事業者、行政がそれぞれの役割を果たしながら連携し、身近な環境から地球環境まで目を向けた取組を進めています。



アースキッズ・チャレンジ
アースキッズ・チャレンジは、小学校の児童を対象とした学習プログラムです。体験授業を通じて地球温暖化の原因や対策を学んだあと、各家庭で子どもたちがリーダーとなって、環境にやさしい取組を考え実行します。



EVバス
沼津駅-沼津港間を排炭ガスを出さない環境に優しいEVバスが運行しています。



南部浄化センター
沼津市における下水道の普及率は、令和3年度末で62.0%です。